北部病院だより 第104号(2017.2)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】花粉症について
【栄養科】みかんで風邪予防
【患者さんからのご意見・ご要望】
【医師の配属・異動】【診療統計】
【ご案内】北部医学会パネル展示について
【TOPICS】絵画を贈呈していただきました

巻頭言　　『花粉症について』

そろそろ花粉症をお持ちの方には嫌な季節になってきました。今回は花粉症の対策と治療についてお話しさせて頂きます。

そもそも日本にはどれくらい花粉症の方がいるのでしょうか？
2013 年の報告によると、アレルギー性鼻炎の方は軽症も含めると 39.4%と言われています。そのうち杉花粉症は 26.5%です。
10 年前はアレルギー性鼻炎は 29.8%、杉花粉症は 16.2%ですから徐々に増えてきています。杉花粉の量は前年の夏の日照量に関係していると言われています。今年の杉花粉は、日本気象協会の予測によると飛散開始は 2 月 10 日ごろ、飛散量は昨年よりやや多いようです。

花粉症の対処法

花粉が飛散し始めたらどうしたらいいでしょうか？
杉花粉は実際には１月下旬から５月上旬まで飛散しています。
例年お困りの方は１月下旬からは対策を取られた方がいいと思います。まずは簡単なことから始めましょう。外出時にはマスク、メガネを使うといいでしょう。

（一番いいアレルギーの対策はアレルギーの原因を避けることです。そばアレルギーの方の一番の対策はそばを食べないことですよね）
また、帰宅したら衣服や髪をよく払って、洗顔、うがい、鼻をかむようにしましょう。

治療方法

毎年症状がひどい方は早いうちにアレルギーの薬（代表的なものに抗ヒスタミン薬があります）を飲み始めるといいと思います。以前は病院でしか処方できなかった薬も、最近はドラッグストアでも買えるようになりました。軽症の方はこれで十分でしょう。それでも良くならない方は耳鼻咽喉科の受診をお勧めします。受診時の流れをお話しします。基本的には問診→診察→検査→治療の手順で進みます。花粉症だと思って受診したら慢性副鼻腔炎だったというのはよくあることです。診察や検査をすることで他の病気がないことを確認する必要があります。

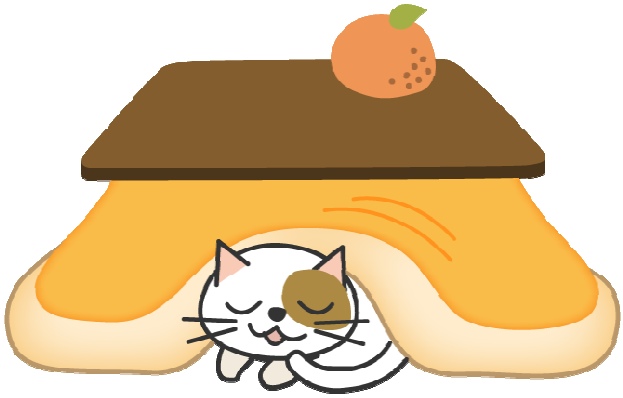
花粉症と診断された場合は薬の変更や追加、点鼻薬を併用して頂くことで多くの方が落ち着きます。重症の方には短期的にステロイドの内服薬を処方する場合があります。薬をなるべく使いたくない、あまり効果を感じないという方にはレーザー治療も行っています。外来で行うことの出来る手術で保険の適応もあります。最近は舌下免疫療法という新しい治療も広まってきています。お困りの方は耳鼻咽喉科医にご相談されるといいでしょう。

（耳鼻咽喉科　山田　良宜）

栄養科からのご案内

みかんで風邪予防

秋から冬にかけてよく食べられる
温州みかんには、風邪の予防に
役立つ栄養素が豊富。
皮膚や粘膜を強化して免疫力を増す
ビタミンCやβ－カロテン、気管支の筋肉を
緩め、せきを鎮める効果のあるシネフィリン
も含まれています。
白い綿状の甘皮や薄皮もいっしょに食べれ
ば、食物繊維もとれます。



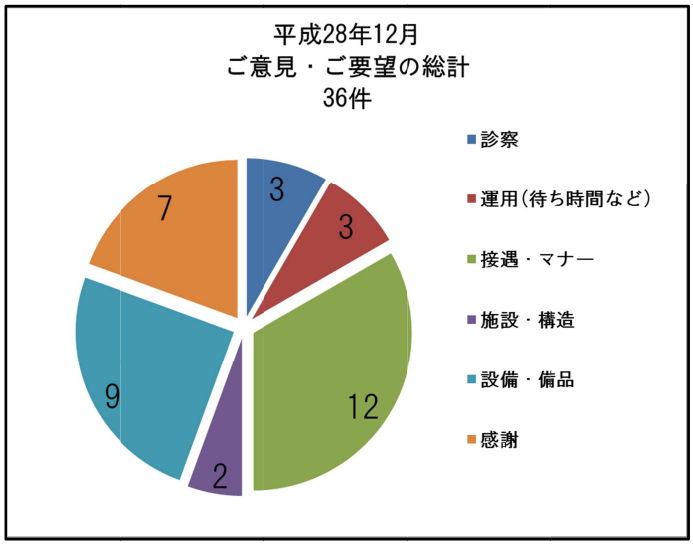
患者さんからのご意見･ご要望

日々患者さんより頂きましたご意見･ご要望に関しましては、院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見･ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
＜接遇・マナーについて＞ 大学病院なので仕方ないかと思うが、茶髪の学生さんがダラダラ歩いていると嫌な気持ちになる。また、検査の時を始め、学生が同室するときにはひと声かけてほしい。 他計 12 件	不適切な対応があったことをお詫び申し上げます。北部病院には毎年延べ 1,000 人を越す学生が学びの場として訪れますが、初日オリエンテーションや実習指導などを通じて、身だしなみや態度についての再徹底を図ります。また、指導者にも患者さんへの配慮が欠けることの無いよう、再度通達いたします。
＜設備・備品について＞ 内視鏡室待合室の気温が低すぎるように思えた。最適な気温の決定が難しいのであれば、タオル・毛布等を多量に準備するか、検査案内に体温調整のためのものの持参を促すなどした方がよいと思う。 他計 9 件	内視鏡室内には患者さんの待機場所として、リカバリー、前処理コーナー、廊下の待機用ソファがあります。 どの待機場所においても、タオルケットやバスタオルを活用し、患者さんの体温調整が可能な環境にしておりますが、スタッフの個別対応が不足していたと考え、カンファレンスにて以下のとおり指導を行いました。 ・患者さん一人ひとりに説明を徹底する。 ・タオル類の不足がないように環境を整える。 ・ヒーターの追加購入を検討する。
＜感謝について＞ ・12 年北部病院に通っていますが、クリスマスツリーの点灯式は初めてでした。また来年も楽しみにしています。 ・今年の病院の光るクリスマスツリーはとてもきれいで、心が癒やされました。 他計 7 件	



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

2017 年 2 月

【附属施設より】

・ 豊田　純也　　（こどもｾﾝﾀｰ）　　江東豊洲病院　こどもｾﾝﾀｰより
・ 渡邊　常樹　　（こどもｾﾝﾀｰ）　　藤が丘病院　小児科より
・ 山田　愛弓　　（放射線科）　　江東豊洲病院　放射線診断科より

異動・退職医師

2017 年 2 月

【附属施設へ】

・ 平林　千寿　　（こどもｾﾝﾀｰ　　⇒ 藤が丘病院　小児科へ）
・ 金子　綾太　　（こどもｾﾝﾀｰ　　⇒ 江東豊洲病院　こどもｾﾝﾀｰへ）
・ 村上　大軌　　（放射線科　　⇒ 大学病院　放射線科へ）

診療統計

前年同月比　（ ）内は 1 日平均

診療実日数 2015 年 12 月（入院：31 日・外来：23 日）、2016 年 12 月（入院：31 日・外来：21 日）

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2015 年 12 月	17,320 人(558.7 人)	27,938 人(1,214.7 人)	400 件(12.9 件)	649 件(34.2 件)
2016 年 12 月	18,203 人(587.2 人)	28,088 人(1,337.5 人)	531 件(17.1 件)	659 件(34.7 件)

患者さんへのお知らせ

第7回 北部医学会 パネル展示について

《昨年度の北部医学会の様子》

最新の学術研究から業務改善の紹介等、日々の業績を職員間で共有することを目的に、毎年院内で北部医学会という学会発表を行っております。

来院された方にも職員の成果をご覧いただけるよう以下の日程でパネル展示致しますので、ぜひお越し下さい。

〇日程：平成 29 年 3 月 18 日（土）～23 日（木）
〇場所：中央棟 1 階　放射線受付横

TOPICS

絵画を寄贈していただきました。

この度、神奈川県にゆかりがある画家の宮島永太良（みやじまえいたろう）さんから、「みんなの演奏会Ⅵ」の原画を寄贈していただくこととなり、平成 29 年 1 月 19 日（木）に絵画の寄贈式を行いました。

横浜市と毎日新聞社が共同で実施している音楽イベントである「クラシック・ヨコハマ」のコンサート「生きる～2016 new year 若い命を支えるコンサート」（平成 28 年 1 月 30 日開催）のために制作された絵画で、「病気と闘う子どもたちに元気になって欲しい」という願いが込められています。

（左：世良田病院長、右：宮島永太良さん）

（寄贈していただいた絵画がテーマ画の
コンサートのパンフレット表紙）

この絵画は、コンサートでチャイコフスキー作曲の幻想序曲「ロメオとジュリエット」が演奏されることを宮島さんが聞き、その曲を湖のほとりで聴いたという記憶を基に描かれたそうです。

また、女性指揮者によるコンサートということで、うさぎの女の子のキャラクターが指揮をしている絵画になっているそうです。寄贈していただいた絵は中央棟 1 階の小児科外来にて飾らせていただく予定となっていますので、是非ご覧ください。

宮島　永太良（みやじま　えいたろう）

1965 年神奈川県生まれ。
和光大学人文学部、早稲田大学第二文学部卒業、
美学校細密画教場終了。
1999 年の初個展「郷地」以降、各地で作品発表。
2008 年より「クラシック・ヨコハマ～若い命を支えるコンサート」
テーマ画を毎年作成し、神奈川県の小児科医療機関などに原画を寄贈。
当院は 9 病院目となる。

大寒が過ぎ、寒さはまだまだ続きますが、交通機関に影響が出るような大雪にはなってほしくないと思います。一昨年の大雪が続いた時は、公共の交通機関に与えた影響の大きさに驚いたことを覚えています。
さて、本号の巻頭言は花粉症についてですが、皆様は大丈夫でしょうか。私は、北海道の田舎者で花粉症には縁がないと勝手に思っていましたが、数年前ついに花粉症になってしまいました。主な症状はくしゃみで軽症ですが、この時期、くしゃみを我慢しながらの採血業務はつらいものがあります。
インフルエンザの予防、花粉症とまだまだマスクを外すことができませんが、皆様ご自愛くださるようお願いいたします。

広報委員　坂本　大（採血検査担当）

北部病院だより　第 104 号
平成 29 年 2 月 1 日発行
発行責任者 世良田 和幸 (昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者　緒方　浩顕 (広報委員会 委員長)
発行　地域中核病院　昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503　横浜市都筑区茅ケ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL：http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。